た。CDは来年6月リリース予 を駆使し、バッハの4曲と九州れる同ホールのパイプオルガン ルガン曲づくりでも知られる演 なじみ深い旋律を主題にしたオ ザックスターンホールで、 宮崎市の宮崎県立芸術劇場アイ 作3曲の録音を10月下旬に終え ゆかりの曲などを素材にした自 奏家だ。国産では最大級といわ (60)(東京純心女子大教授) -ディングを行った。 日本人に オルガニストの酒井多賀志 (高梨忍) と

卒で、 釈で高い評価を得てきた。 クの演奏を得意とし、斬新な解 草分け的存在。 国内ではオルガニストの 東京芸大オルガン科 バッハやフラン

2008.12.06

酒井多賀志 CD発売へ

曲作品59は、 の子」。これを主題にした幻想 の素材の一つは唱歌「われは海 今回の録音も同様だ。自作曲 寄せては返す波の

ていく。 この人の持論だ。その考えは、 ませたいという願いにつながっ に、日本の伝統音楽を通してオ 唱歌や民謡など聴衆に身近なテ くだけで終わってはならない」。 ルガンを日本の楽器としてなじ ーマを使った曲づくりに、 「オルガニストはバッハを弾 さら

も、そうした思いがあってのこ どの曲を主題とした変奏曲や幻 とだった。 琴などとの共演も重ねてきたの 想曲を作曲し、演奏では尺八、 とんぼ」「故郷」「早春賦」な 鹿児島県・奄美の島唄や、「赤

様子を表現したという伴奏部 くラストが印象深い。 引き潮のように減音してい

にとり入れた。瞑想的にゆった 「船ぬ親ユンタ」は幻想曲作品は沖縄県・八重山諸島の民謡 設置されるパイプオルガンが多 パッセージや変拍子が多彩だ。 りと始まり、労働歌らしい速い い中、ここのは国産である。 年に完成したものだ。輸入して 市)に製作を依頼し、 オルガン工房(神奈川県横須賀 酒井らしい選択と言える。 ルのパイプオルガンだったのは するために選んだのがこのホー ルギーがわいてくる曲」という、 これらの曲をレコーディング 「力強く、体の奥底からエネ 993 須藤

「3年前初めて弾き、 律を演奏するのに 酒井は、日本の旋 色に魅せられた」。 むような優しい音 しっとりとなじむ 包み込

ろう。録音を終えた後、 で録音することができてうれ い」と喜んだ。 ・沖縄にちなんだ曲を宮崎の地 楽器と感じたのだ

8・3043)から発売される。 2などが収められ、スタジオ・ パッサカリアハ短調BWV58 リリック(東京、042・66 トロダクションとフーガハ長調 (新世紀21) 作品56、 CDにはほかに、自作のイン バッハの

井多賀志(宮崎市の宮崎県立芸パイプオルガンの録音に臨む酒 **一秋月正樹撮影**